

19 足助レディースパトロールセキュリティ隊（豊田市）

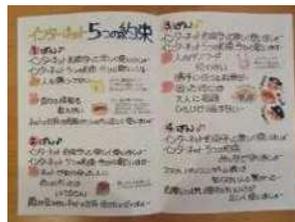
地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	足助レディースパトロールセキュリティ隊
2 事業名	～特殊詐欺等に負けない地域をめざして～ (被害者にも、加害者にもならない環境づくり)
3 事業実施結果	<p>1 特殊詐欺等に負けない地域をめざして・・・被害者にも、加害者にもならない環境づくり！</p> <p>特殊詐欺の手口は、ロマンス詐欺や警察官を語って多額の金銭をだまし取る手口等、従来のパターンから日々進化して、今や高齢者だけでなく各年代層にまで被害者になってもおかしくない状況である。そのため各種活動の機会には、最新の特殊詐欺の手口を紹介した、オリジナルの防犯冊子を活用してわかりやすく、丁寧に説明することを心がけ防犯広報に努めた。また、子どもを取り巻く環境も悪化し、早くからネット社会の一員であることから、便利さと怖さの両極端なインターネットのモラルを知ってほしいと若年層に焦点をあわせた防犯の普及にとりくんだ。例えば、学校や学童クラブ等インターネットの功罪をわかりやすく替え歌にして口ずさんだり、紙芝居を通して、理解を深めてのもらう活動を実施した。高校生にはアスケットとの合同活動の時等を通して、地域の安全安心に関心をもってくれるように声かけを実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="448 1603 924 1962" style="text-align: center;">  <p>左 R6 年と右 R7 年の冊子</p> </div> <div data-bbox="986 1451 1372 1962" style="text-align: center;">  <p>R7 年の冊子（表紙）</p> </div> </div>



5-6 ページ
(新しい特殊詐欺の手口)



7-8 ページ
(インターネット)



9-10 ページ
(特殊詐欺かるた)

5の約束・替え歌

2 高齢者宅訪問

- ・急激に高齢化が進み、過疎化する地域の中で、孤立しがちなお年寄り宅(特に一人暮らし)を訪問し、防犯冊子を使いながら特殊詐欺の手口や鍵かけの励行等、防犯に関する事柄をわかりやすく説明した
- ・足助高校防犯ボランティア「アスケット」、各地区民生委員、地域包括センター等、関係諸機関とも連携しながら高齢者宅を訪問して、手作りのクリスマスリースを手渡しするとともに、身近なことから防犯に関心を寄せてもらえるように鍵かけ等に注意してもらうことや、特殊詐欺に騙されないように気をつけて過ごしてもらえるように説明した。今年で9年目になるので、毎年配布している団体は、お正月飾りをとどけた。



クリスマスリースとお正月飾り



クリスマスリースの手渡し



3 出前防犯教室

・私たちの居住する地域は、高齢者が多く、交通手段も思うようになって、地域住民への情報の伝達が難題でもある。それなら積極的に地域に出向いて、手作りの紙芝居や最新の手口を盛り込んだミニコント、特殊詐欺には負けませんと替え歌でアピールしたり、〇×クイズ、最近発生した特殊詐欺の手口を紹介した防犯冊子を効果的に取り入れながら、“わかりやすく” “楽しく” “一つでも心に残る”ことをモットーに地域に出向いて防犯教室を実施した



出前防犯教室

4 年金支給日金融機関での啓発

・各層の地域住民が利用する地元金融機関に出向き、利用者に新たな手口の紹介や、いつ、だれが被害者になるかもしれない状況について説明した。直接、特殊詐欺の手口をお話することで防犯を身近に感じてもらい、家庭や

地域で話題にすることで幅広い層に情報発信できるのではないかと考えている。



啓発グッズ



軍手



クリアファイル

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>成果</p> <p>特殊詐欺の手口はますます進化し、複雑、巧妙、悪質化していて、いつ誰が被害者になってもおかしくない憂慮すべき状況でもあり、比較的平穏な地域に住んでいる私たちも人ごととは思えない。予兆電話がかかったり、数件だが被害も出ている。今年度は、特に「私は大丈夫」という固定観念を見直してもらうため、各地に出向いて地域の人々と向き合う活動を推進してきた。その時に携行する手作りの改訂版防犯冊子はわかりやすいと各世代に共感を持ってもらうことができた。特に高齢者と子供向けには、冊子の中で取り入れている防犯替え歌をCDに入れて日常口ずさんでもらい、記憶に残るよう工夫したことも各層の防犯に対する意識の向上を感じた。また、数年来の活動を継続してきたことで私たちの活動が認知され、身近に感じた異変を伝えていただけたことになったことは事業実施の成果でもあると感じる。</p> <p>課題</p> <p>若い世代が、罪の意識もないまま犯罪に加担してしまう、という闇バイト等、ネット社会の功罪でもあると思う。情報社会は都会も過疎地でも関係なく平等に一律に情報が手に入り、知らないうちに悪の組織に組み入れられていくことは、私たちの地域でもありうであろう。そのためには、若年層に防犯意識を持ってもらいたいと思う。若い世代が仲間、家庭に防犯の間口を広げていけば、防犯の輪が広がっていくと思う。どうしたら犯罪に関心を持ってもらえる啓発活動ができるのか私たちの今後の課題である</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>『犯罪にあわない 犯罪をおこさせない 犯罪をみのがさない』の犯罪3原則を合言葉に安全で安心して暮らせるいい感じの田舎をめざすために、どのような働きかけや環境づくりが必要なのか、今までの活動の中からヒントが見つかるのか、試行錯誤を重ねながら、取り組んでいきたいと思う。地域の連帯感や絆は私たちの活動の原点でもあり、その財産を宝に地域の人々と交流を深めながら今後も女性ならではの視点から無理をしないで楽しく防犯活動を続けていきたいと思う。</p>
----------------------------------	--